SHARP®

除 湿 機

ディー ダブル　ピー　シーエックス
DW- P80CX
取扱説明書

※『プラズマクラスターおよびプラズマクラスターイオンは
　シャープ株式会社の商標です。』

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ､正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は､保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。

この製品は業務用には使用しないでください。

もくじ

ページ

特 長

● プラズマクラスターイオン™

プラズマクラスターイオンとは

プラスイオンとマイナスイオンの集合体のことです。
空気中に浮遊するカビ菌をやっつける効果があり、カビ臭さも同時に抑えます。＊

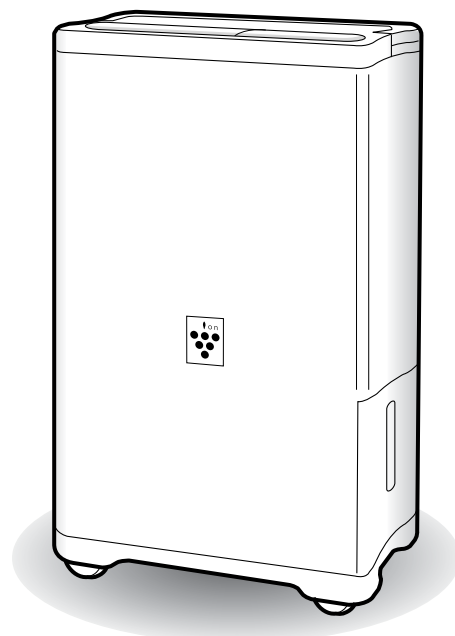
プラズマクラスターイオンの効果

「クリーン」運転

プラズマクラスターイオンのはたらきにより、お部屋の空気を清潔にします。

プラズマクラスターイオンで清潔衣類乾燥

空気中に浮遊するカビ菌までやっつけ、清潔な衣類乾燥ができます。

＊● 試験機関：(財)石川県予防医学協会
　・測定方法：クラスターイオン運転時の気中浮遊菌数を、エアーサンプラーにて測定。
　・除菌方法：除菌イオンを空中に放出。

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警　告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注　意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

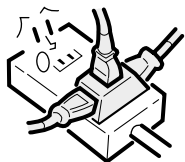
⚠ 警　告

禁止

定格電圧(100V)以外で使わない。
表示以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因。

禁止

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。
感電や発熱・火災の原因。

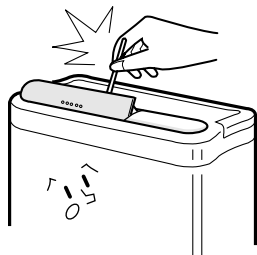
禁止

電源コードは傷付けたり、加工しない。
電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加熱したり、重いものを載せたり、挟み込んだりすると破損したり、感電・火災の原因。

禁止

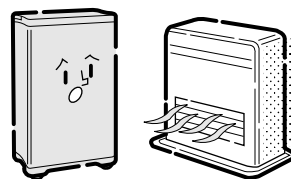
差込プラグの抜き差しにより、運転や停止をしない。
感電や火災の原因。

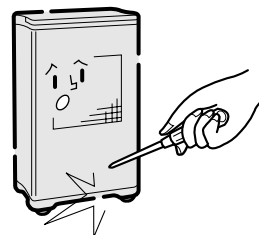
禁止

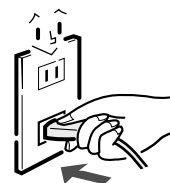
空気の吹出口や吸込口に指や異物(ピン・針金・棒)などを入れない。
内部でファンが高速回転しているので、けがをしたり、内部に触れて感電・故障の原因。

禁止

スプレーなどの缶を本体の近くに置かない。
また、引火性の危険物(ガソリン・シンナー)などの近くで使用しないでください。引火・爆発や火災の原因。

火気禁止

発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火するおそれあり。

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災・感電・けがの原因。

必ず実施

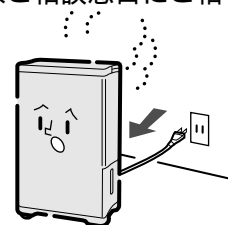
差込プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
差込プラグのほこりは定期的に乾いた布で拭いてください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因。

必ず実施

修理は、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談ください。
修理に不備があると、感電・火災・けがなどの原因。

プラグを抜く

異常時(こげくさいなど)は運転を停止して差込プラグを抜き、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因。

図記号の意味

禁止
しては**いけない**ことを表しています。

必ず実施
しなければ**ならない**ことを表しています。

火気禁止
火気を近付けてはいけないことを表しています。

プラグを抜く
必ず差込プラグをコンセントから抜くことを表しています。

分解禁止
分解や修理改造の禁止を表しています。

水ぬれ禁止
ぬらしてはいけないことを表しています。

- 「安全上のご注意」は使う前に必ず読み、いつでも見られる所に保管しておいてください。

⚠ 注　意

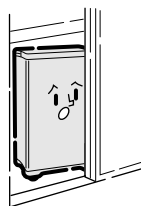
禁止

キャスターを引きずって、本体の方向を変えたり、移動させない。
また、畳や傷の付きやすい床・凹凸のある場所・毛足の長いじゅうたんなどでは持ち上げて移動してください。床面や、じゅうたんの表面を傷付ける原因。

禁止

本体を倒したり、落としたりしない。
器具破損や漏水・漏電などの故障の原因。

禁止

押し入れ･家具のすき間など､狭い場所で閉めきって使用しない。
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因。

禁止

本体の上に花瓶など水の入った容器を載せない。
本体内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電・火災の原因。

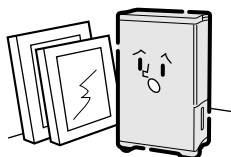
禁止

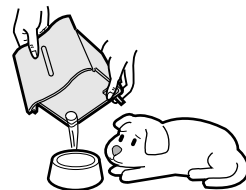
油･可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない。
万一漏れて本体の周囲に溜まると、発火の原因。

禁止

屋内専用です。
直射日光の当たる場所・雨風の当たる場所で使用しない。
過熱や感電･漏電･火災の原因。

禁止

美術品や学術資料などの保存､特殊用途には使用しない。
保存品の品質低下の原因。

禁止

除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない。
健康を害するおそれあり。

禁止

製品の上に乗ったり、もたれたりしない。
製品の移動や転倒などにより、けがの原因。

禁止

製品からの風が直接当たる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因。

禁止

差込プラグを抜くときは､電源コードを持って抜かない。
電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因。

禁止

空気の吹出口や吸込口を布などでふさがない。
風通しが悪くなり、発熱・発火･故障の原因。

禁止

人のいる部屋で、長時間使用しない。
運転中は熱が発生し、部屋の温度が上がり乾燥し、健康を害するおそれあり。
次のような方がお使いのときは、ご注意ください。
(乳幼児・お子様・お年寄り・自分で器具の操作ができない方)

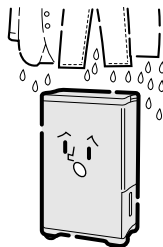
・・・安全上のご注意

⚠ 注　意

禁止

テーブルの上など高い所で使用しない。
本体が落下したとき、けがの原因。

水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、風呂場などで使用しない。
感電や漏電・火災の原因。

水ぬれ禁止

製品を水洗いしない。
感電の原因。

必ず実施

水平で丈夫な場所で使用する。
ご使用中に本体が倒れると、内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らしたり、感電や漏電・火災の原因。

必ず実施

連続排水する場合はホースの折れ曲がりや落差などに注意し、確実に排水するよう配管する。
内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因。

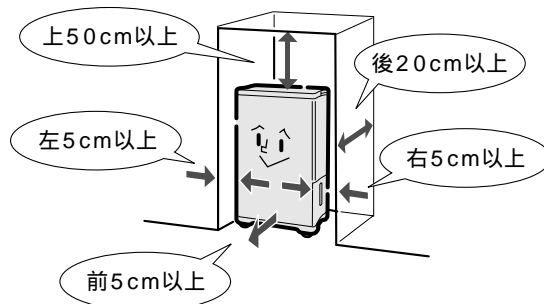
必ず実施

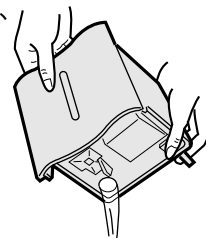
排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする。
ホース内部の水が凍結し、本体内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らす原因。

必ず実施

お手入れをするときは必ず運転入／切ボタンを「切」にし、差込プラグを抜く。
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因。

必ず実施

本体の周囲は、下図に示す寸法以上のすき間をあける。
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因。

必ず実施

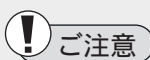
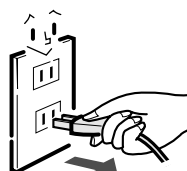
移動するときは必ず運転を停止し、排水タンクの水を捨てる。
内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らしたり、感電や漏電・火災の原因。

必ず実施

別荘など無人で長時間ご使用になるときは、定期的に点検をする。
過熱や漏水・漏電の原因。

必ず実施

同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床の周辺などの汚れにご注意ください。
製品を移動して、床などもときどき清掃してください。

プラグを抜く

長時間ご使用にならない場合は、安全のため差込プラグをコンセントから抜く。
感電や漏電・火災の原因。

ご注意

テレビ・ラジオや電波時計などから2m以上離す。
電波障害の原因。

お使いになる前に

はじめてお使いになるとき

排水タンクに水が残っている場合がありますが、工場での製品検査のときによる除湿水で異常ではありません。

1 箱から製品を取り出し包装材を取り除く。

包装箱と包装材は、製品保管用として保存してください。
排水タンクのフロートに付いている青色の部品は取りはずさないでください。

2 水平で丈夫な場所に設置する。

製品がガタつく場所では、振動や運転音が大きくなります。

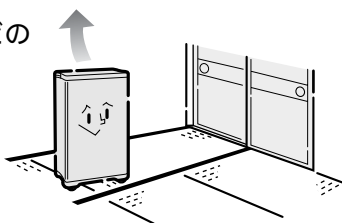
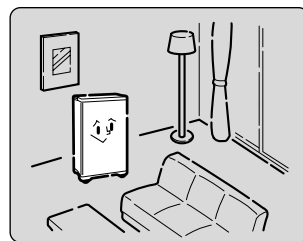
3 差込プラグをコンセントに差し込む。

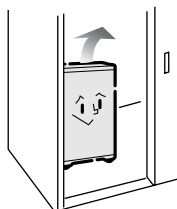
電源は一般家庭用交流100Vです。

上手な使いかた

お部屋で除湿･乾燥したいとき

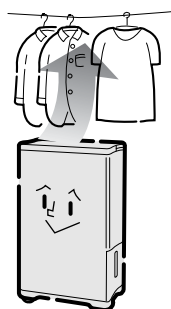
運転中は、お部屋の窓や扉の開閉をできるだけ少なくすると効果的です。
(「強」で運転すると除湿量が多くなり効果的です。)

- 畳やじゅうたんなどの乾燥に。

- リビングやキッチンの除湿に。
おやすみ中にじっくり除湿ができます。

- 押し入れやクローゼットの乾燥に。

乾燥はふすまやクローゼットを開けて

- 天井や壁・窓ガラスの結露防止に。

洗濯物を乾かしたいとき

清潔衣類乾燥

8 ページ

各部のなまえとはたらき

正　面

ルーバー 8 ページ

運転時は必ず開けてお使いください。

吹出口 8 ページ

ハンドル

移動するときに起こしてください。

排水タンク 10 ページ

タンクふた

フロート

青色の部品は取りはずさないでください。

タンクとって

水位窓

背　面

フィルター(吸込口) 12 ページ

連続排水穴 11 ページ

キャスター

左右に移動できるようになっています。

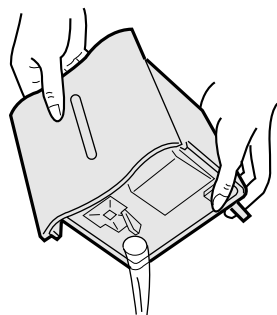
フィルターつまみ 12 ページ

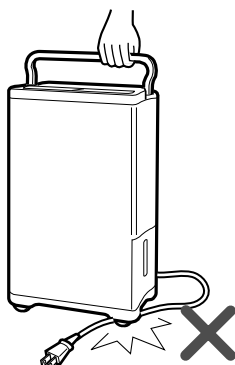
結束バンド

電源コード

差込プラグ

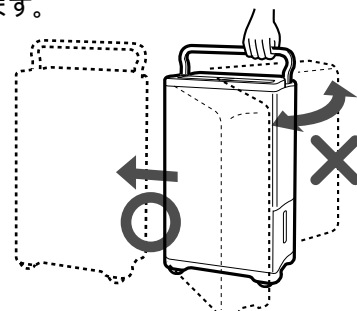
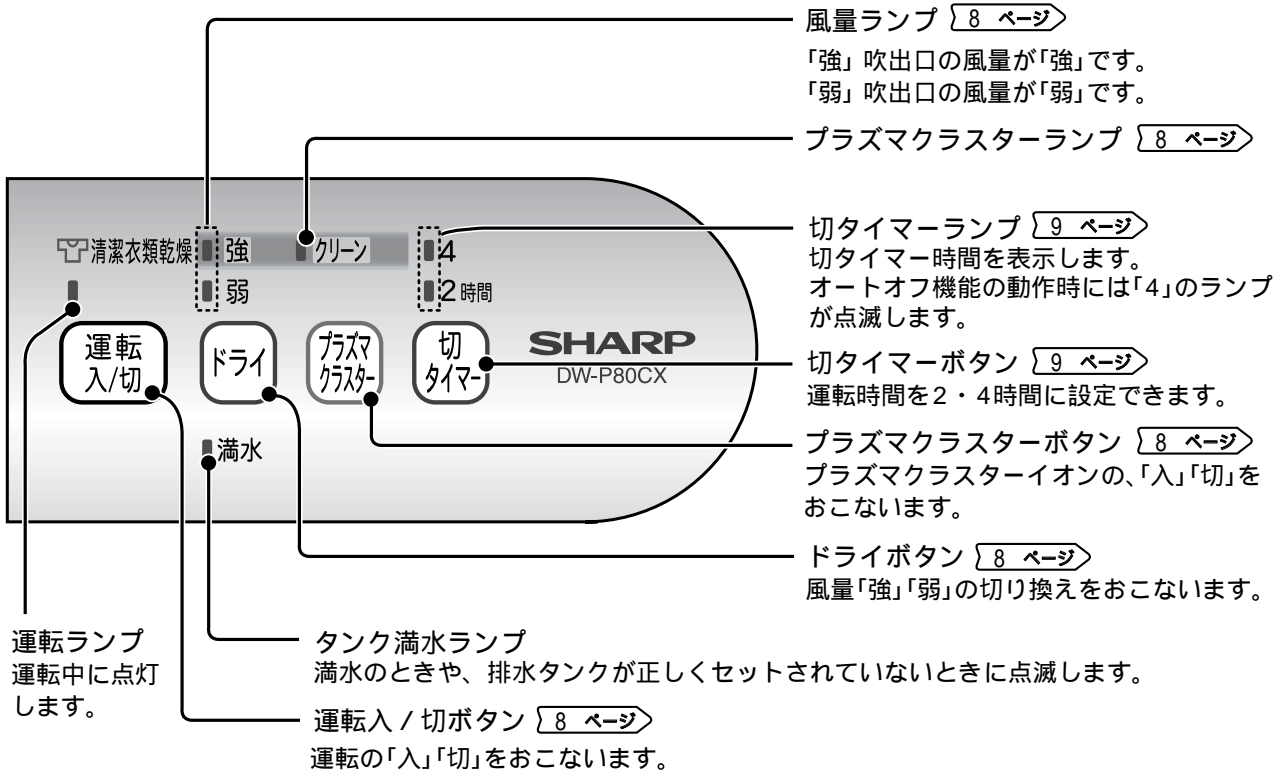
移動するときのご注意

1 排水タンクの水を捨てる。

2 ハンドルを持って移動する。

キャスターに電源コードを挟まないよう注意してください。

ご注意

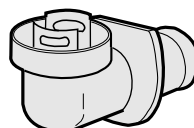
キャスターを引きずって、本体の方向を変えたり、移動させないでください。畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんなどでは、持ち上げて移動してください。
床面やじゅうたんの表面を傷付ける原因になります。

操作部

仕　様

項目		単位	50Hz	60Hz
電源電圧			100V	
電源周波数			50Hz	60Hz
定格除湿能力		L/日	7.1	8.0
消費電力	室温27℃ 湿度60%	W	180	210
	室温30℃ 湿度60%	W	190	220
※待機中		W	0.3以下	0.3以下
除湿可能面積の目安		m² (畳)	15〜30(9〜18)	17〜33(10〜20)
			(木造住宅〜コンクリート住宅)	
排水タンク容量		L	約2.2で自動停止	
電源コード		m	有効長　約 1.8	
外形寸法		mm	幅361×奥行200×高さ506	
質量		kg	約12	

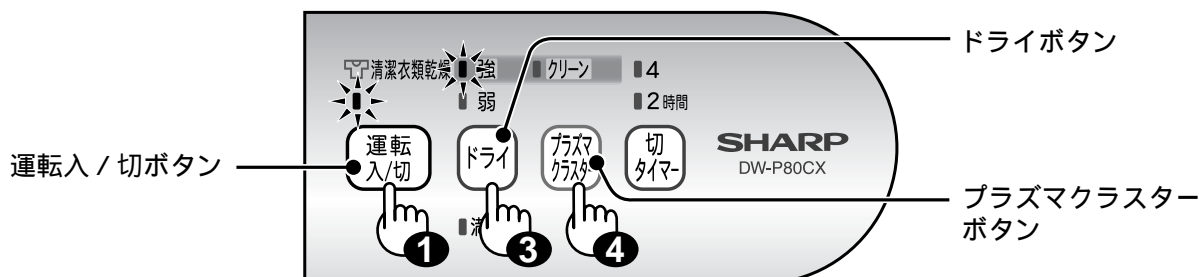
- 定格除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を維持し続けたときの1日当りの除湿量です。(風量「強」のとき)
- 消費電力は風量「強」での数値です。
- 除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電機工業会)規格に基づいた数値です。
  ※待機中とは、差込プラグをコンセントに差し込んだ状態です。

付属品

排水エルボ (1個)
連続排水時に使います。

印刷物付属品 (各1部)
- 取扱説明書
- 保証書

運転のしかた

ドライ運転 ／ 排水タンクは、必ずセットしてください。

(表示例) 風量「強」　プラズマクラスター「切」での表示

1 運転入／切ボタンを押す。

運転ランプが点灯し、前回の運転モードの運転が始まります。

2 天面のルーバーの突起部を押して開きます。

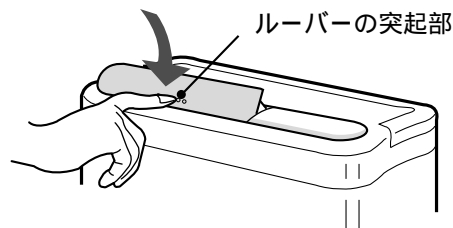
4段階の風向きの中から、お好みの風向を選びます。

3 ドライボタンを押して、風量を選ぶ。

ドライボタンを押して、風量「強」「弱」を選びます。

4 プラズマクラスターボタンを押して、「クリーン」の「入」「切」を選ぶ。

「クリーン」運転ではプラズマクラスターイオンのはたらきにより、お部屋の空気を清潔にします。

※プラズマクラスターイオンの単独運転はできません。

ご注意

- **運転時は、必ずルーバーを開けてお使いください。**
  ルーバーが完全に閉まった状態では正常な運転はできません。

停　止 **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**

すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

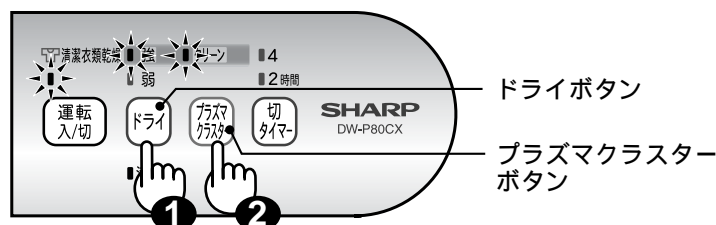
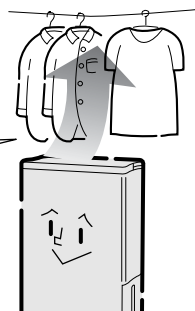
運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。

清潔衣類乾燥について

衣類乾燥でお使いになるときは、ドライボタンを押して風量「強」を選び、プラズマクラスターボタンを押して、「クリーン」の「入」をお選びください。

空気中に浮遊するカビ菌が減少した状態で、清潔な衣類乾燥ができます。

ドライボタン

プラズマクラスターボタン

上面の吹出空気を衣類に当てる。

切タイマー運転のしかた

❶ **運転ランプが点灯し、運転中であることを確認する。**

❷ **切タイマーボタンを押す。**

切タイマーの初期表示は設定時間が「2」(2時間後切)を表示します。

- 切タイマーランプは、切タイマーボタンを押すごとに次のように順に切り換わり、切タイマーの設定ができます。 → 2 → 4 → **消灯** (取消)

例 **4時間後に運転を停止させたいとき** ▶ 切タイマーの設定時間を「4」に設定します。

- 運転時間が経過すると、設定した切タイマーランプの表示は「4」から「2」に切り換わります。
- 切タイマー動作中に再び切タイマーを押すと、設定時間を変更できます。
- 切タイマー終了時(運転停止時)には、お知らせ音が鳴り、すべてのランプが消灯します。

切タイマーを取り消すとき

- 切タイマーボタンを押して、「消灯」を選ぶと、切タイマーが取り消されます。

メ モ

切タイマー動作後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
(切タイマーの設定は記憶されません。)

オートオフ機能について

オートオフ機能とは、運転切り忘れ防止のため、運転開始から12時間が経過すると運転モードにかかわらず自動的に運転を停止させる機能です。オートオフ機能が動作すると、切タイマーランプの「4」が点滅して、運転が停止します。

- 排水タンクが満水時、オートオフ機能が動作した場合、運転ランプは消灯しタンク満水ランプと切タイマーランプの「4」が点滅して運転が停止します。

(表示例)

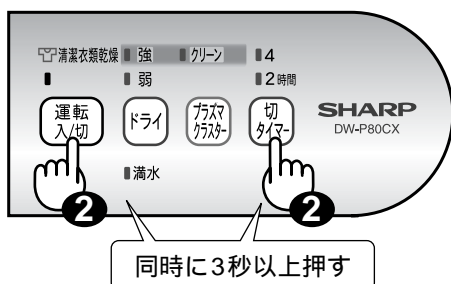
排水タンクの満水検知後、オートオフ機能動作時での表示。

メ モ

オートオフ機能動作後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。

再運転したいときは運転ボタンを2回押す

1回目で切タイマーランプの点滅が解除され、2回目で運転ランプが点灯して運転が開始します。

オートオフ機能の解除のしかた

❶ 差込プラグを差し込みます。

❷ 運転停止中に「切タイマーボタン」を押しながら、「運転入／切ボタン」を同時に3秒以上押すと設定音が鳴り、「タンク満水ランプ」が約5秒間点灯後に消灯してオートオフ機能が解除されます。

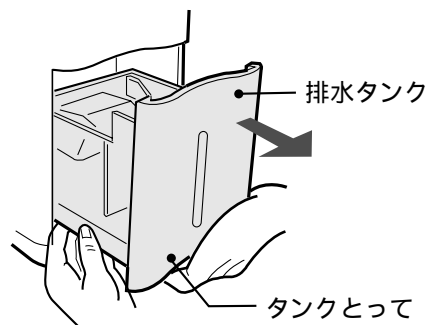
元に戻したい場合は、❷ の操作をもう一度おこなうか、差込プラグをコンセントから抜き、再度差し込むと再設定されます。

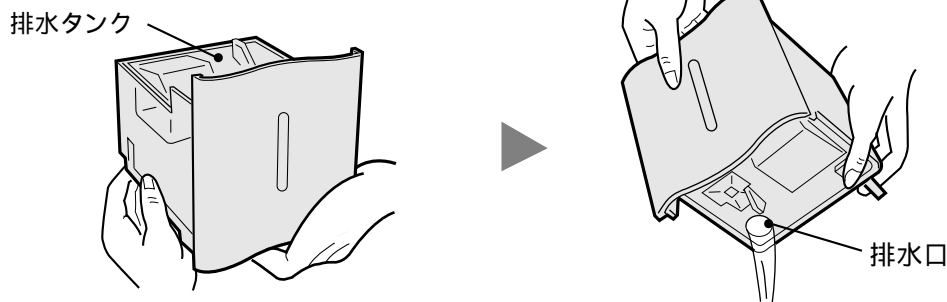
排水のしかた

- 排水タンクを取り出すと、タンク満水ランプが点滅して、運転を停止します。
- 運転入／切ボタンを押して運転ランプが消灯しても、タンク満水ランプは点滅を続けます。

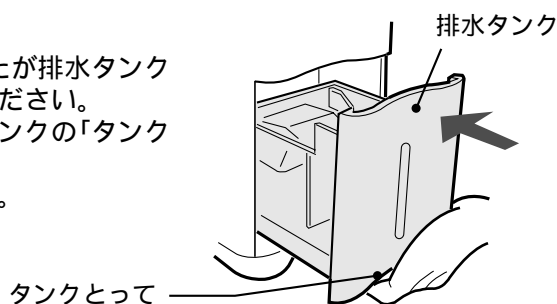
排水タンクに約2.2リットルの除湿水が溜ると自動的に運転を停止します。操作部のタンク満水ランプが点滅してお知らせ音(約8秒間)でお知らせしますので、排水タンクの水を捨ててください。

1 排水タンクをまっすぐ取り出す。

- 排水タンクのとってを持って、本体が動かないように押さえながら、水をこぼさないように、静かに引き出します。
- 引き出したときタンクが傾かないように底に手をそえてください。

2 水を捨てる。

- 排水タンクは「タンクとって」を持って、両手で支えながら運びます。
- 排水タンクを傾けて、排水口から水を抜きます。

- 満水時は、重さが約2.8kgになります。持ち運びのときには、気を付けてください。

3 排水タンクを入れる。

- 必ずフロートがはずれていないか、タンクふたが排水タンクの外周に確実にはまっているか、確認してください。
- 本体が動かないように押さえながら、排水タンクの「タンクとって」を持って本体に確実に押し込みます。
- 排水タンクを乱暴に押し込まないでください。
  止水弁の故障の原因になります。

- **排水タンクを取り出した後、本体奥の内部に触れない。**
  満水停止装置・止水弁の故障の原因となります。
- **本体を移動するときは運転を停止して、必ず水を捨てる。**
  排水タンク内の水が振動で床などにこぼれ、家財などを濡らす原因になります。
- **排水タンクの内側を定期的に(約一週間に1回)掃除してください。**
  長く清掃しないと黒くなることがあります。

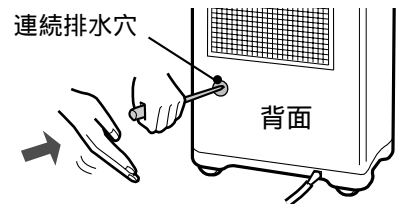
連続排水のしかた

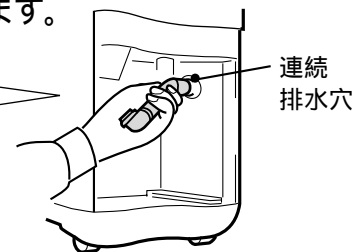
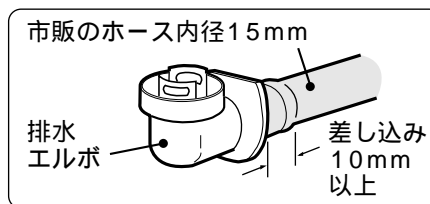
連続排水運転で使用するときのご注意

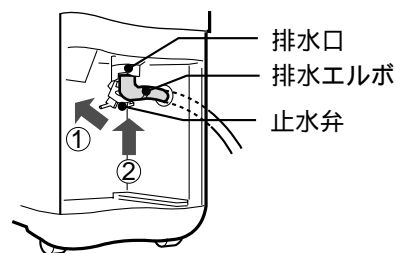
- この除湿機は家庭用除湿機です。連続排水運転するときは、定期的に(2週間に1度)フィルターの汚れ・排水ホースの詰まり・停電などを点検し、異常のないことを確認してください。
- 排水ホースは、ホースの周囲が氷点下にならないような場所に設置してください。
(ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水が室内にこぼれ、家財などを濡らす原因になります。)
- ホースの先から虫が入るような場合は、ネット(網)を取り付けるようおすすめします。
- **連続排水運転時にも運転開始12時間後に自動停止するオートオフ機能は動作します。**
オートオフ機能を解除する場合は、オートオフ機能の解除の手順(9 ページ)に従っておこなってください。

近くに排水できる場所があれば、連続排水ができます。
必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜き、次の手順でおこなってください。

1 連続排水穴を開ける。

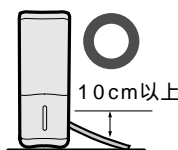
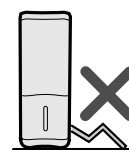
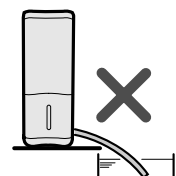
排水タンクを取り出し本体背面の連続排水穴をドライバーなどで押して打ち抜き、穴の端面を「丸ヤスリ」などで仕上げます。
このとき本体に傷を付けないように注意してください。

2 連続排水穴に通したホースの先端に排水エルボを取り付けます。

排水エルボを右図のように、ホースに取り付けます。

3 排水エルボを本体に押し込む。

本体の止水弁を押し開きながら、排水エルボを排水口に根元までしっかり押し込みます。

4 排水タンクを取り付ける。

排水タンクを取り付けないと運転できません。
(本体内の満水停止装置が動作し、運転停止状態になります)

連続排水時のホースの引きかた

必ず先下りの勾配をつける

途中を折り曲げない

ホースの先を水につけない

連続排水をやめて元へ戻す場合

排水エルボを抜き、ホースといっしょに連続排水穴から抜いてください。

お手入れ

- 安全のため運転を「切」にして、差込プラグをコンセントから抜いてください。
- 清潔で衛生的に長くお使いいただくために、定期的にお手入れすることをおすすめします。

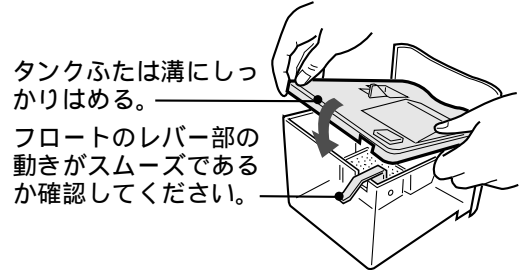
排水タンク (1週間に1回程度)

1 タンクふたを取りはずす。 タンクふたは左または、右の角から反対側に向かって徐々にはずす。

2 排水タンク内外を洗う。 排水タンク内のお手入れには、食器洗い用のスポンジなどをご使用いただくと便利です。

3 排水タンクを柔らかい布で拭き、タンクふたを取り付ける。
長時間お使いになると、除湿水が黒くなり、排水タンクが汚れます。そのようなときは、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗い流してください。
タンクふた外周の溝を、タンクに確実にはめ込んでください。止水弁の故障や水漏れの原因になります。

タンクふたは溝にしっかりはめる。
フロートのレバー部の動きがスムーズであるか確認してください。

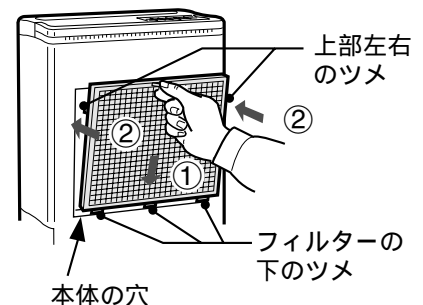
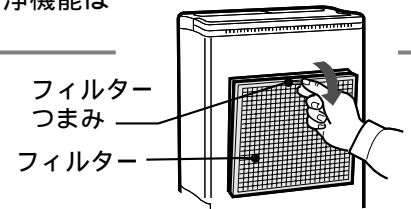
ご注意
- フロートを傷めないよう注意してください。
- フロート内の青色の部品は取りはずさないでください。
- フロート内の水は十分に取り除いてください。満水停止装置が正常にはたらきません。

フィルター (2週間に1回程度)

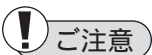
※**このフィルターには、空気清浄機能はありません。**

フィルターの目詰まりは、除湿能力の低下を招き、電気代の無駄になります。フィルターを付けずに運転すると、本体内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

1 フィルターを取り出す。
背面にあるフィルターつまみを持ち、手前に引きます。

2 フィルターを洗う。
汚れは水や中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗い流すか、掃除機で吸い取ります。水洗いの場合は日陰で十分に乾かしてください。
- 水洗いの場合、汚れた面を下側に、掃除機の場合は汚れた面を上側にします。

3 フィルターを元通りにセットする。
フィルターの下のツメを本体の穴に差し込んでから、上部左右のツメが本体に確実にはまり込むように、セットしてください。

本　体 (1カ月に1回程度)

ぬるま湯(40℃以下)か洗剤を含ませた、柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- 洗剤をお使いのときは、必ず水洗いした布をよく絞って洗剤を拭き取ります。
- 吸込口・吹出口も汚れやすいところです。忘れずにお手入れを。

ご注意
- 本体に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。
- 洗剤は中性洗剤(食器用洗剤)をお使いください。
- 次のようなものは使わないでください。プラスチックを傷めます。
(シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・酸・たわしなど)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

長期間ご使用にならないとき

① **排水タンクに残っている水を完全に捨てる。**(タンクふたをはずし、排水タンクについた水を拭き取ります。)
② **フィルターを掃除する。**
③ **電源コードを付属の結束バンドでまとめる。**

保管場所は
本体を十分に乾燥させてから、お買いあげのときの箱に入れるかほこりよけの簡単なカバーをかぶせ、直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。
- カバーをしないで保管すると、運転されたとき本体に侵入したほこりが吹き出すことがあります。

知っておいていただきたいこと

運転可能な部屋の温度は1℃〜40℃です。

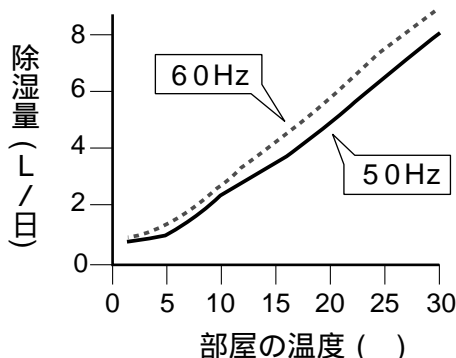
室温が４１℃以上では機械に無理がかかり保護装置がはたらいて、運転を停止することがあります。
１℃以下の場合は除湿した水が凍り、除湿不能および故障の原因となります。

除湿運転中は室温が上がります。

除湿機には冷房暖房機能はありません。

運転中は吹出口から暖かい風を吹き出す構造ですので、お部屋を閉め切ったまま、長時間運転しますと室温が上昇します。

除湿量は、部屋の温度・湿度によっても変わります。

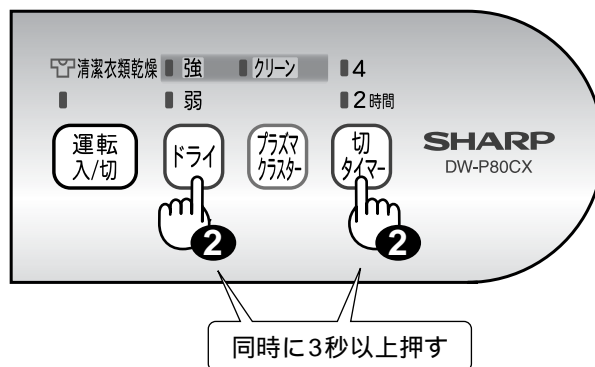
- **温度が低くなる冬期の除湿量は、右図のように少なくなります。**

再運転は3分後。

運転停止後や、差込プラグを差し込んだ直後に、運転入／切ボタンを押しても機械保護のため、約3分間は圧縮機(コンプレッサー)の運転はおこないません。

満水「お知らせ音」および切タイマー終了時の「お知らせ音」を消したいとき。

次の手順でおこなってください。

1. 差込プラグを差し込みます。
2. 運転停止中に「ドライボタン」と「切タイマーボタン」を同時に3秒以上押すと、設定音が鳴ります。
3. 運転入／切ボタンを押し、排水タンクを取り出して、「お知らせ音」が鳴らなければ、設定完了です。

元に戻したい場合は、❷ の操作をもう一度おこなうか、差込プラグをコンセントから抜き、再度差し込むと設定が解除されます。

霜取りについて

- **部屋の温度が約15℃以下になると、内部の霜を取るために自動的に霜取りをおこないます。**
  - ・霜取り中は風が止まり、運転音が変わります。
  - ・霜取りは、部屋の温度と湿度によっても異なりますが、約45分間に1回(約5〜10分程度)です。(低温時は1回の霜取り時間が長くなります。)
- **低温時は除湿した水が冷却器に凍り付くため、自動的に霜取り運転をおこないます。このため排水タンクに水が溜りにくいことがありますが、故障ではありません。**

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは 出張修理

1 「故障かな?」(16ページ)を調べてください。

2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。

3 お買いあげの販売店に次のことをお知らせください。

・品名：除湿機　・形名：(保証書に記載の形名)
・お買いあげ日(年月日)　・故障の状態 (具体的に)
・ご住所 (付近の目印も合わせてお知らせください)
・お名前　・電話番号　・ご訪問希望日

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
  ただし、次の部品のみ3年間です。
  圧縮機・毛細管・冷却器・配管・放熱器(凝縮器)
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

- 修理に際しましては保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は除湿機の補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　ー

愛情点検

長期ご使用の場合は商品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- さわるとピリピリ電気を感じる。
- こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な振動がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

- 故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
  なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

●製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **シャープ修理相談センター** へ
●製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **シャープお客様相談センター** へ

シャープ修理相談センター

●**修理相談センター** (沖縄・奄美地区を除く)
■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●**携帯電話**／**PHS**でのご利用は……	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
●**FAX**を送信される場合は…………	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理」**および**「部品購入」**のご相談 は、上記**「修理相談センター」**のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札　幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙　台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東　京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多　摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千　葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横　浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静　岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	清水市鳥坂1170
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金　沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京　都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大　阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神　戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広　島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高　松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福　岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那　覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープお客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(0302)

故障かな？

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、「保証とアフターサービス」については 14 ページ をご覧ください。

こんな場合	調べるところ
運転入／切ボタンを押しても運転しない	● 差込プラグがはずれていませんか。 ● 停電ではありませんか。
タンク満水ランプが点滅している	● 排水タンクが正しく入っていますか。 ● 排水タンクが満水になっていませんか。
運転ランプが点滅している	● 運転ランプが点滅して運転しない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。
除湿量が少ない	● フィルターが目詰りしていませんか。 ● 吹出口や吸込口がふさがっていませんか。 ● お部屋の温度・湿度が低くありませんか。
除湿運転でなかなか湿度が下がらない	● お部屋が広すぎませんか。 ● 窓や出入口の開閉が多くありませんか。 ● 石油ストーブなど、水蒸気が出るものを使用していませんか。
水がもれる	● 本体を傾けたり、倒したり、落としたりしていませんか。 ● 連続排水時、排水エルボの接続が不完全であったり、ホースがはずれていませんか。
音がうるさい	● 除湿機の置きかたが悪くがたついていませんか。 ● 床が不安定ではありませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。 ● 温度が低いときに運転を開始すると、数秒間音が大きくなることがあります。(温度条件により時間は変わります。) ● 天面のルーバーが閉じていませんか。

次のような場合は故障ではありません。

製品から音がする「チッチッチッ･･･」	● プラズマクラスターイオン発生時にでる音です。 就寝時など気になるときは、製品との距離を離してご使用ください。
製品から「チッチッ」と音がしたりしないときがある	● お部屋の湿度で音が大きくなったり、小さくなったり、またほとんど聞こえないときがありますが、プラズマクラスターイオンの効果は同じです。
室温が上がる	● この商品には、冷房機能はありません。 お部屋を閉め切ったまま長時間運転しますと室温が上昇します。
切タイマーランプ「4」が点滅している	● この商品には切り忘れ防止のため、オートオフ機能が付いています。 この機能が、動作すると運転が停止し、切タイマーランプ「4」が点滅します。 9 ページ
運転開始時・停止時などに音がする「シュルシュル」「ゴーゴー」	● 冷媒(冷却液)の循環する音です。

● 製品についてのお問い合わせは… シャープお客様相談センター	東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280 西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993
《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)	
● 修理のご相談は…	15ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in China
TINSJA098FBRZ 03DO Ⓒⓝ ①